

観光立国の実現に関する目標について

- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ**質の向上を強調**するとともに、地域の目標への引き直しやすさも考慮。
- 今後の世界的なコロナの収束見通しが不透明であることも踏まえ、**人数に依存しない指標**を中心に設定。

戦略	目標	(2019年)	(2022年)	早期達成を目指す目標	2025年目標
持続可能な観光地域づくり戦略	目標 持続可能な観光に取り組む地域数 (新たに設定)		12地域 (うち 国際認証・表彰地域6)		100地域 (うち 国際認証・表彰地域50) (大幅増・全国に展開)
	目標 インバウンド回復戦略				
インバウンド回復戦略	目標 訪日外国人旅行消費額単価 (新指標)	15.9万円/人		旅行消費額 5兆円	20万円/人 (2019年の25%増)
	目標 訪日外国人旅行者一人当たり 地方部宿泊数 (新指標)	1.35泊			1.5泊 (2019年の10%増)
	目標 訪日外国人旅行者数	3,188万人			2019年水準超え (注)
	目標 日本人の海外旅行者数	2,008万人			
目標 国際会議の開催件数割合	アジア2位 (主要国シェア約30%)			アジア最大の開催国 (主要国シェア 3割以上)	
国内交流拡大戦略	目標 日本人の地方部延べ宿泊者数	3.0億人泊		早期達成を目指す目標	3.2億人泊 (2019年の5%増)
	目標 国内旅行消費額	21.9兆円		20兆円	22兆円 (2030年目標の前倒し)

(注) 世界的なコロナの収束見通しが不透明な中で設定したものであることに特に留意が必要。